

5/14 より、いよいよ私たち信徒もミサで聖歌を声を出して歌う事が出来るようになりました。

歌によって神に感謝し、賛美することは素晴らしい、と改めて感じました。

当たり前前にしていたことが突然できなくなった時、私たちは当たり前だと思っていたことは本当は全然当たり前ではないこと、全て神様からの恵みだという事に気づかされます。

いつも感謝の気持ちを忘れず、毎日を神様のみ旨に従って生きる事ができますように。

+++++

自主グループ

ART DAYS (アートデイズ)

もともとグロリエッタさん（大宮区）のポーセリンペインティング（磁器の絵付け）教室の生徒さんの作品を 2 階ロビーに展示したのがきっかけで、2010 年より、1 年おき（偶数年の 11 月）に行っている大宮教会信者有志による芸術と工芸の展覧会です。（コロナ禍の 2020 年、2022 年はオンラインでの開催）

作品の展示の他、販売やワークショップも行ってきました。

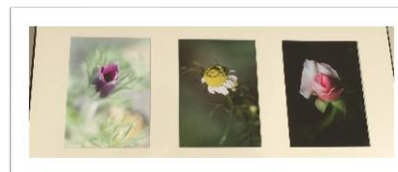
芸術と言っても、受賞作品やプロの作品に限らず、制作者本人が喜びをもって制作した作品（過去の作品も可）を展示し、教会内外の方々に自由に楽しんでいただくことを目的としています。特に教会外の方が教会に足を踏み入れるきっかけとなれば、と思っています。



絵や芸術が好きな方に作品の出品を依頼して何度も断られました。「私は人様にお見せできるような立派な作品を作る才能は有りません」というような理由で断る方がたくさんいました。

でも私たちが何かを作り出すことに喜びを感じる才能（？）は神様から与えられたものであり、神様はそれを隠しておかずに人前に出すことを望んでいらっしゃる、と信じています。自信がなくても勇気を出して出品することで、誰かの心に変化を起こすこともあり得ます。何より神様を喜ばせることになります。

次回のアートデイズの出品を目標に、あなたも何かを作ってみませんか？



アートデイズスタッフ 槻田

内容【活動紹介】ART DAYS・CAS・デコレーション部【堅信おめでとうございます！】
【投稿 説教を聞いて】【洗礼を受けて】【主によばれて (19)】
【信徒委員会】参加者募集・除草作業【総務部】お願い・受付【広報部】部員募集
【財務部】部員募集【青少年養成部】初聖体【堅信式について】【HP・SNS 紹介】

成人養成部

CAS (クリスチャンアーツスペース)

アートデイズとCASを混同する方も多いため、ここで紹介します。

CASは現在は自主グループではなく、成人養成部の活動の一環となっています。

毎月第三日曜日のミサ後に2階の1室で活動しています。(参加者随時募集)

聖書のみことばを読んで黙想し、分かち合い、宗教美術について学んだり、美術の手法を学び、各自のインスピレーションで簡単な制作をします。子どもの頃、学校で図工を学んだ時のような、楽しい制作の時間を体験できます。後日展示会も行います。ふるってご参加ください。

*5月は「主のご復活」を黙想し、復活のシンボルとしての「ペリカン」をモチーフにした、粘土の壁飾りを制作しました。(色付けは後日)



CAS 石崎



デコレーション部より

遅くなりましたが、復活祭には多くの方に「祈りの鎖」にご協力いただきましてありがとうございました。おかげさまで教会ロビーを、復活の喜びを表現した飾りで彩ることができました。

受付にアンケート用紙を置きますので、要望や感想など、お気軽にお書きになり、意見箱にお入れください。今後ともよろしく願います。

デコレーション部 槻田



<堅信おめでとうございます！>

5/21のミサの中でハリーさん(見沼区)が堅信の秘跡を受け、プロテスタントからカトリック信者になりました。おめでとうございます。これからもよろしく願います。



説教を聞いて

2023. 5. 13

カトリック大宮教会に山口神父さんが赴任して来ました。「説教」の中で、神父さんはご自身の教会との「出会い」について、お話をされました。

私は神父さんの話を聞いて、「どん底」だった自分の青春時代を思い出しました。それは1964年、大学2年の5月に肺結核と診断されてからのことでした。丁度、東京オリンピックの年で、私は地元から聖火リレーランナーに選ばれていましたが……無念。もちろん、成人式にも出席することが出来ませんでした。それからの私は隔離病舎での入院生活で一日中ベッドに横たわっているだけの退屈な毎日でした。正直、私の人生は20年、これで終わりだと思うと悔しくて涙が止まりませんでした。

療養生活1年2ヵ月後の秋に退院しましたが、大学は学期の途中の為、単位が取出来ないので、毎日自宅でぶらぶらして過ごしていました。そんな年の12月、おふくろの知人から、クリスマス・イブの夜半ミサに誘われました。私は初めて訪れた大宮教会のミサに大変感動して、それからの日曜日は心がけて教会に行くことにしました。

翌年の4月から再び大学に通い、入学から6年かかったの卒業でした。大学の専攻は土木工学科でしたので、これからの日本は先進国として、下水道（水洗トイレ）が必要と考え、卒業論文は衛生工学「汚水終末処理場施設設計」をテーマに提出しました。其のころ、建設省は下水道第一次5か年計画をスタートしたばかりでしたので、これが私の仕事だと考え、就職は民間の「下水道専門コンサルタント」に入社しました。会社は全国の官庁からお仕事を頂き、調査・基本設計・詳細設計から工事管理まで国の補助金をいただきながら、まさに、ゼロからのスタートの業務でした。

その後、污水施設（管路・中継ポンプ場・終末処理場）工事が進むにつれて、水洗化普及率向上にともない、浸水対策のための雨水施設（排水機場・遊水地・調整池等）の設計、75歳でリタイヤする前の10年間は大気・水質・土壌汚染等の環境調査の仕事をしてまいりました。施工された全ての施設は現在も稼働していることでしょう。

洗礼は教会に通いはじめて7年後の春、大宮教会で結婚を機に信者となりました。洗礼名は一人抜けた後の補充要員として加わった13番目の弟子「マツヤ」です。現在、私は神様に生かされて、感謝・感謝の日々を過ごしております。



希人（まれひと）

☆☆

洗礼を受けて

義母が信者でした。私は日曜日ごとに約40年前から義母を乗せて、大宮教会の門の前までは来ておりました。その母が帰天し、その時の葬儀ミサに与った妻は翌年受洗しました。

その後、今度は妻を教会に送っています。

3年前、私は仕事から解放され、妻と共有の時間を持ち、共に歩いて行けたらと考え、入信を決意しました。

（主の御心は到底計り知れませんが、「この人がいつまでも門のあたりをウロウロしては目障りだから」と引き入れて下さったのでは）

実は受洗前に息子の嫁が病院勤務中（不

幸中の幸い）1月に、くも膜下出血になりました。直ぐに手術が出来、3週間後には後遺症もなく退院し、3月には職場復帰出来ました。この奇跡的な回復は神様からの贈り物と確信しております。

洗礼式後、たくさんの方から祝福のお言葉を頂き、本当に受洗して良かったと改めて思いました。

今は、毎週 主日のミサに与り、ご聖体を頂くことに喜びを感じております。

神に感謝、皆さんに感謝

遠藤

✠ 主に呼ばれて (19) ✠

私が3番目にホームステイすることになった家庭は、両親とも正規の仕事ではなくパートタイムのようで、子供たちが夏休みの間は家族で出かけることも多かったです。

一度ビーチに連れて行ってもらいました。以前、アボリジニの方々と一緒にバーベキューをする予定になっていたビーチです。湾のようになっているため波があまりなく、子供たちが泳ぐのには良いビーチです。

海では楽しんでいたつもりなのですが、'Masa, enjoy!'と言われました。「まさ、楽しみなよ!」。私は楽しんでいたつもりなのですが、あまり楽しそうに見えなかったのでしょうか。そういったことを気にしてくれるオーストラリア人にはいつも癒されます。ゴルフの時も 'Take your time.' 「自分のペースでね。」などと声をかけてもらいました。オーストラリア人には「人生は楽しむもの」という生き方を感じます。

2番目の女の子の誕生日が1月下旬だったので、誕生日パーティーとして公園でピクニックをしたのも楽しい思い出です。夏休みの間は買い物も子供たちを連れていくので、私も一緒にスーパーマーケットに行きました。

スーパーマーケットはその国の生活が分かる気がして大好きです。子供がぐずると陳列棚からお菓子を取って、袋を開けて食べさせた時にはびっくりしました。もちろんその後レジではお金を払っていました。日本では考えられないことですよ。

1月下旬に夏休みが終わり、学校が始まりました。学校にはスクールバスで通学していました。

1月下旬になると本格的に暑くなってきました。40℃近く上がる日もありました。昔は100度を超える予想だと学校は休みになったそうです。100度と聞いてびっくりしましたが、華氏の100度は摂氏38度ちょっとです。最近の日本でこの制度を導入したら、7月は休みが増えてしまいますね。

そんな中、肢体不自由の子どもの療育訓練で泊まる場所を探しに行くということで、ペンバトンというところに行くことになりました。小学生二人が学校に行っている間に行く方が良いとのこと、私もついていきました。アルバニーから車で片道3時間くらいかかりました。アルバニーも田舎ですが、ペンバトンというところはもっと田舎で、人口が1000人に満たないような村です。

昔はカリーの木という高く成長する材木の産地として、もう少しにぎわっていたようです。その村の中心からかなり離れているところに知り合いがいるというので訪ねました。

かなりご高齢の男性で、知り合いが訪ねてくるのが楽しみと言っていました。ノートに訪れた知人にサインをしてもらうのを楽しみにしていて、日本人が来たのは初めてだからサインしていけと言われました。確かにこんなに辺鄙で人里離れた所に来る日本人はいないでしょうね。

この家はまさに「田舎」と呼ぶのにふさわしい家であり、東京生まれ、東京育ちの私には驚くようなことがいくつもありました。隣の家まで歩いて5分くらいというのもびっくりですが、夕方になると庭にカンガルーの親子が来るのを見たときには、ほんとうにびっくりしました。夕方になると庭にあるレモンの木の葉を食べに、カンガルーの親子が来ていました。リビングの窓から良く見えます。向こうも慣れていいのか、人間に見られても気にする様子はありませんでした。ただ、何日かは物珍しく見ていたのですが、そのうち慣れてしまい「あ、また来ている」となってしまいました。毎日見られると感動がないですね。

もう一つは、水道が引かれていないので、雨水を大きなタンクに貯めているのですが、そのタンクが空に近くなってしまい、役所に電話して給水車で補給してもらったことです。水道が当たりまえだったので、水がなくなるというのは初めてでした。雨水を貯めるという発想にもびっくりしました。なんでも便利になった日本では考えられないことでした。

JLMMから連絡があり、もう少し英語の勉強をすることになりました。ただ観光ビザで入国しているので、このままオーストラリアにいと、ビザの期限が切れてしまいます。ホームステイ先の家族も心配してくれ、何とかならないかと知り合いの政府の関係者に連絡を取ってくれました。入国後に観光ビザから学生ビザに切り替えるのは難しい、とのことで一度出国することにしました。

パスで英語の勉強をすることにし、学校を決め、日本への一時帰国のチケット購入などを1週間ほどでやる予定でパスに行くことにしました。

2軒目のホームステイ先のおじいさんの家がパスにあり、日本に帰国している間、荷物を預かってほしいとお願いの電話をしたところ、快く引き受けてくれただけでなく、パスまで車で乗せて行ってくれる人まで見付けてくれました。わずか3か月半滞在しただけのアルバニーですが、東京生まれ、東京育ちの私にとっては、第二の故郷のような街になりました。

見沼区 斉藤

<信徒委員会・各部からのお知らせ>

【平日ミサ】毎週火～金 AM7 時小聖堂・土曜日夕方ミサはありません【英語ミサ】7/2 より毎月第1日曜日 PM2 時

<信徒委員会より>

・カリタスさいたまより「青年ボランティアツアー南三陸」参加者募集します。

詳細は教会に掲示しているチラシをご覧ください。申込締め切りは7/15です。

(司祭または会長を通して申し込んでください)

・5/21 ミサ後に行った除草作業にご協力下さりありがとうございました。また日ごろから除草を下さっている方々にも感謝いたします。

<総務部より>

・自主グループの活動が本格化してきました。以前と同様に、使用する部屋の入口にグループ名の記載された札を掛けてください。

・受付当番がいる時間は

5月第2週から

毎週金曜日 10:30～13:00

毎週日曜日ミサ後 13:00 まで

<広報部より>

おみやや教会通信を発行している広報部では、現在各自の事情により実際に活動できる部員が少なく困っています。広報部は文才がある人しかできないと思っている方がいらっしゃいますが、実際は心配ご無用です。

- ・原稿を依頼する
- ・通信を印刷する
- ・印刷した通信を折り、設置（教会1階ロビー、小聖堂）する
- ・郵送が必要な方向けに封入、切手を貼って投函する(40部弱)

月に一度これらの作業を手伝ってくださる方がいると助かります。これならできそう、と思う方は受付にお声がけください。

広報部 槻田

<財務部より>

財務部でご協力いただける方を募集いたします。大宮教会とさいたま教区を財務面で支える大切な勤めで、以下のチームに分かれて作業しています。

①ミサ献金の集計 ②維持費の集計

③経費支払い・伝票作成 ④会帳簿作成
作業日は第二、第四日曜日のミサの後です。

① ② ③は現金を取り扱うので最低2人以上で作業していますが、部員数を増やして交代シフトが組めるように、またできる範囲でパソコンも導入したいと考えています。奮ってのご参加をお待ちしております。

<青少年養成部 子ども会より>

初聖体

○対象 小学4年生以上

○日程 ※日程が変更になっています

・初聖体 '23年11月19日(日)

・勉強会 ①'23年6月18日(日)

② 7月16日(日)

③ 9月17日(日)

④ 10月15日(日)

ミサ後 12:00～15:00 頃

⑤ 11月18日(土)

10:00～12:00

※ミサに必ず与ってください。

※勉強会にはすべて参加してください。

※都合により変更になる場合があります。

○持ち物 昼食、飲み物、筆記用具

希望される方は、申込書に記入して、受付に提出してください。

問合せ 青少年養成部 齊藤

<堅信式について>

堅信式を11月5日(日)に行います。

希望される方は事前に申し込み、勉強会(3回)を受けてください。

勉強会の日程は

中高生向け：9月2日、9月30日、10月14日

(いずれも土曜日 午後7時から9時)

大学生・成人向け：9月3日、10月1日、10月15日

(いずれも日曜日ミサ後)

締め切り：8月27日(日)

よろしくお願ひします。

担当：齊藤

カトリック大宮教会

ホームページ・SNSをご覧ください

広報部では、ホームページ、Twitter、Facebook を運営しています。

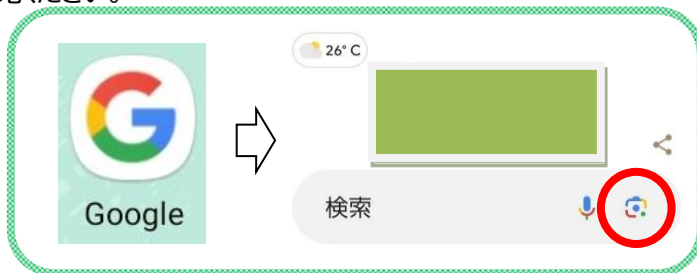
ホームページではカトリック大宮教会の紹介や御ミサの案内、神父様のメッセージなどの情報を発信しています。Twitter では毎週の御ミサの案内を日本語と英語で案内したり「おおみや教会通信」をアップして信徒以外の方への情報発信もしています。

これからも情報発信をしていきますので、ぜひご覧ください。

2次元コードから

スマホから📷カメラを起動して2次元コードを読み取ってください

Androidの方はGoogleアプリを起動してGoogleレンズで読み取ることもできます



Homepage



Twitter



Facebook



🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿(本などの感想、特集してほしいことなど)を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

